

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は交通事故のニュースを見るとき、簡単な言葉でニュースをかたづけしていました。

でも今日の、ニュースは報道されないような被害者、加害者の話を聞いて、他人事は無い、簡単な言葉でかたづけられない話ではないと思いました。

また加害者の人の話を聞いて、人の大切な人をうばったのに、罪が軽いのはなんでと思いました。罪は重くても、軽くても大切な人は帰って来ませんか！笑っているのは、おかしいと思いました。たった1年か生きていないのに、自分都合で、命のうばった加害者はちゃんと一生をけつこうべきかと思いました。

「周りの子たちはどんどん大きくなっていくのに、雄宇也だけは7才のま」という言葉が心にさりました。もし、自分が雄宇也君のお母さんの立場だったら、きっとたえられないと思います。

お葬式の日、最後に虹か出てきたのは、雄宇也君のありがとうという気持ちか空にあらわれたのだと思います。

車も自転車もそのおろかまようまの十何と一緒。だから私は、もし、車で運転する日か来たら、通学路などでのスピードを出したりせず、安全なけを考え、責任を持ってハンドルをまわります。もちろん自転車でも、雄宇也君のような被害者と悲しい家族が減少するように、たくなりますように。命の大切さ、事故の怖さをこれからこのような活動で全国に広めてください。応援しています。

学校名

五城目第一中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

石井 莉緒

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は、この命の大切さ学習教室を通して「命」とは一つ失うだけで簡単に幸せというものは壊れてしまうと実感しました。雄宇也くんのお母さんのお話を聞きとれほど悲しく、つらかったかなどが伝わりました。私は目の前で車どうしの事故を見たことがあります。その時は事故だ"としか思わなく、車を運転している人の気持ちなど考えてもいませんでした。雄宇也くんのお母さんのお話を聞いて初めに思いうかんだのは家の方の顔でした。今日の朝見おくってくれたお母さんとお父さんの顔がうかび事故は絶対にあってはならないと思いました。私はこのお話を聞き「幸せ」は普通の生活でもただ生きているだけでも幸せとよべると思いました。私もいつかは車を運転すると思いますがこのようなことが決しておこらないように気をつけて運転したいと心にちかいました。もう二度とこのような事故がおこらないために今日、雄宇也くんのお母さんが話してくださったことを家の方にも矢口らせようと思いました。

学校名

五城目第一中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は命の大切さ学習教室のお話を聞いて、命の大切さをあらためて知ることができました。お母さんは、ゆうやくんの事故の知らせも聞いてつらかったと思うし、ゆうやくんが亡くなってから今も、つらい思いや悲しい思いがあると思います。前の日までは元気に遊んでいたり、朝も元気に登校してたりしていたのにゆうやくんは家に帰ってくることはなかったと聞いてどれだけお母さんがつらい思いをしたかが分かりました。私は事故にあったことがありましたが、ゆうやくんの事故のように、いつとんでも事故がおこってしまうのが分からないので、毎日を元気に、楽しく過ごそうと思いました。ゆうやくんは小学1年生という人生がまだまだこれからという時に命を去ってしまったので、家族のみんなや、学校の友達が、ゆうやくんに毎日話しかけたり、ゆうやくんのための会を開いてくれたという話を聞いてゆうやくんはたくさんの人に愛されて生きてきたから、お母さんにはいっぱい愛情をそそいでいたと思います。天国でもゆうやくんは幸せに暮らしているのではなにかと思います。卒業式の日もたくさんの人々に身守られて同じクラスの人たちとお母さんと卒業することができて、ゆうやくんもきっとうれしかったと思います。ゆうやくんのお母さんの活動は私たちに、命の大切さ、はがなさを教えてくれました。お母さんにはこれからもこの活動を続けてほしいと思っています。私は家族や友達と一緒にいて、私が生きていることの幸せ、命の大切さをしっかり理解していきなりたいと思います。ゆうやくんのお母さんがこの活動で話しているときもゆうやくんのことを思い出し、嬉しい思いをしてくれていると思います。それで、この活動を通じてこのような事故が少しでも減らしてほしいなというゆうやくんのお母さんの気持ちをよく分かりました。今日のお話を家族のみんなに話してみたいと思います。私が将来大人になったら自動車で運転することになったらぜひぜひ運転したいなと思います。お話をしてくださって本当にありがとうございました。

学校名

五城目第一中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

大淵 愛結

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は、事故にあったこともなければ、見たことも少くて、ニュースでしか知ることがありませんでした。なので、秋田県内のいつもの普通の道路で起きた交通事故の話聞いて、すごく身近に感じました。私は学校に自転車で行くとき、朝お母さんが外でいってらっしゃいと笑顔で言ってくれます。帰り道は友達と喋りながら広い田んぼ道を通ります。そんないつもの毎日がずっと続くわけではないことを今日のお話で実感できました。雄宇也くんが生まれたときからの話を聞いて、私たちと全く同じように過ごしてきたのに、急な事故で亡くなったと聞いて、心が痛く、ものすごく辛い思いをした雄宇也くんや雄宇也くんのお母さんの気持ちが伝わってきました。なので私は、今の時間をもっと大切に感じ、命の尊さをしっかり心の中にいれていたいと思いました。家族や友達をより大切にし、感謝の気持ちを忘れないでいたいです。そして、将来自分が車に乗るときは、この命の大切さ学習教室の話を思い出して、交通ルールをきちんと守り、安全な毎日を過ごしていきたいと思います。このお話をしてくれてありがとうございました。

学校名

五城目第一中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

猿田 美優

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学 1 年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私達のために辛い記憶や思い出をお話してくれて本当にありがとうございます。

今、私は普通に今日を過ごしていますがもしもいたら今日という日が来なかった人がいると思うと私は幸せ者

なんだと思います。私が中学校 1 年生のとき夜遅くに部活の試合から帰ってきたら知り合いの

救急隊員から電話がかかってきました。すると祖父母が事故にあったと言うのです。急いで病院にかけつける

と、コトウケルズで面会ができずとんぱ状態なのに私に見る事ができませんでした。その時の気持ちは

今でも忘れられません。辛い命は取り戻されたが交通事故と聞くとその日がよみがえります。

あの日の事故がなければ、今日も生きていた雄宇也さん。それも、この間スピード違反が注意されていた

人が加害者なら、その人はなぜまたスピードを出して車を運転していたのか私は不思議に思います。

笑顔で手を振って学校へ行った雄宇也さんがなぜ事故にあわなければならなかったのか。

お話を聞かせて辛い気持ちになりました。私がこんなに辛いのは遺族の方だけではないかと

悔しくて辛いのが分かります。私はいつも母に照れくさく「行きます」と言ったことがありません。

「行くのはいいと言われでも無言で学校に行っていました。でも、いつ別れが来るか分からない

のに言わなければならぬとお話を聞いて思いました。明日から必ず言いたいです。

とただ名前を呼んでも析っても、もうあの世に行ってしまった人と会うことはできません。(か)

側にいると思います。いつもお母さんのことを雄宇也さんに見守られていると思います。

これから、熊谷さんに沢山の幸せが来ることを願っています。これからもこの活動を応援しています。

雄宇也さんにも沢山の幸せが訪れますように。

学校名

五城目第一中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

西井 侑音

より